



秋臨技だより

第114号

発行所
〒010-0011 秋田市南通亀の町6-9
シティガーデン南通 I 101
TEL/FAX : 018 (825) 2116
Email: aamt-01@comet.ocn.jp
<https://aamt.sakura.ne.jp>

発行人 佐藤 友章
編集主幹 北村 一幸

目 次

| | |
|--------------------|-----|
| 新年のご挨拶 | 2 |
| 第47回秋田県医学検査学会 | 3 |
| 令和7年度 全国「検査と健康展」 | 4-5 |
| 第14回日臨技北日本支部医学検査学会 | 6 |
| 環境・保険事業功労者表彰・編集後記 | 7 |

謹
賀
新
年





新年のご挨拶

(一社) 秋田県臨床検査技師会

会長 佐藤 友章

新年あけましておめでとうございます。新春を迎え、会員の皆様におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、日頃より技師会活動に対しまして深いご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年の干支は「丙午（ひのえうま）」です。丙は“陽の気が勢いよく伸びる”ことを、午は“活力と前進”を象徴すると言われています。変化を恐れず新しい挑戦に踏み出すパワーを秘めた年とされ、行動力や独立心を促す年と解釈されています。午（うま）だけに、今年は“駆け抜けるような進歩”、新しい技術が花開き、医療の未来が大きく動き出す一年を予感させます。

昨年は臨床検査の領域でも、デジタル化・自動化の波が加速した一年でした。特に、AIを活用した検査支援技術の普及や、地域医療における検査データ連携の重要性は高まり、私たち臨床検査技師の役割はますます多様化・高度化しています。実際に医療技術の進展は、“駆け足”どころか“疾走”の勢いで進んでいます。臨床検査の領域においても、AI解析の高度化、データ連携の強化、スマートラボラの加速など、臨床検査の現場はこれまでにないスピードで変革を迎えており、技術の進歩に置いていかれないように私たちも“馬力”を上げていきたいものです。こうした変化の中で、県内の医療現場を支える皆様が、日々の業務に真摯に向き合い確かな検査品質を続け維持してこられたことに、改めて深い敬意を表しますとともに、これまで以上に質の高い検査データの提供とチーム医療における積極的な役割が期待されています。丙午の持つ「勢い」と「変革」の気運は、私たちを後押ししてくれることでしょう。

現在、日本臨床衛生検査技師会を中心に推進されている「タスク・シフト／シェア」の取り組みは、医師の働き方改革を支えるだけでなく、検査技師の専門性を発揮する重要な機会です。当会としても、会員の皆様が臨床現場でより一層信頼されるパートナーとして活躍できるようキャリア支援や技術向上の場を継続的に提供してまいります。また、「臨床検査DX」の波は、検査室の生産性向上や業務効率化において不可欠な要素となりました。デジタル技術の積極的な導入により、限られた人財のなかでいかに質の高い医療を提供し続けるか、本年も皆様のお知恵を拝借しながら共にステップアップの年になるよう意識し着実に進んでいく所存です。

今年は秋臨技の大きな事業として、令和8年度日臨技北日本支部医学検査学会（第14回）が本会担当のもと11月14日（土）、15日（日）の2日間、秋田市の「にぎわい交流館AU、秋田キャッスルホテル、秋田県立美術館」を会場に開催されます。現在実行員会で学術部門の力を借りながら企画等について鋭意取り組んでいるところです。学会運営は技師会員だけでなく、賛助会員、メーカー様、関連企業様のご協力があるものです。一つひとつ丁寧に、確実に進めて参りますので、実行員はもとより会員一丸となって、学会が“馬（うま）く”無事に終わられるようお力添えをいただきたく存じます。人口減少が進む秋田県において、臨床検査技師の果たす役割は、単なる検査業務にとどまらず地域の健康を守る専門職として、医療チームの一員として、そして未来の医療を形づくる担い手として、私たちの存在意義は大きくなっていくと思われます。本年も、会員一人ひとりが実力を存分に発揮できるよう、本会としても最新技術に対応した研修の充実、若手技師の育成、地域医療機関、関連団体との連携推進などに取り組んでまいります。変化の大きい時代だからこそ、会員の皆様が安心して学び、挑戦できる環境づくりや最新の知見を共有し合い、互いに学び合える場をさらに広げて提供できるよう引き続き全力で支援してまいります。結びに、秋田県臨床検査技師会にとって新たな飛躍の年となることと、会員の皆様のご健勝とご活躍を心より祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

第47回秋田県医学検査学会 終了の御報告と御礼



第47回秋田県医学検査学会 実行委員長

市立大森病院 高橋 一成

この度、令和7年10月4日（土）、JAふるさとよこてシャイニーパレスにて開催いたしました「第47回秋田県医学検査学会」を、会員ならびに賛助会員の皆様のご協力のもと、無事に終えることができました。新型コロナが日常の一部となった現状を踏まえ、昨年度に引き続き現地開催といたしました。交通の便等を考慮し午後からの開催といたしました。が、発表演題数15題、参加者174名と、多くの皆様にご参加いただき、盛況のうちに終了できましたことを、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

一般演題では15題の発表があり、県学会で初めて発表された方に贈られる「デビュー賞」は8名となりました。初めて学会発表を行う方から、発表経験はあるものの県学会では初めてという方まで、多彩な顔ぶれとなりました。演題内容も、日常業務からの検討や知見、貴重な症例報告など幅広い分野にわたり、学術委員や実行委員からも「レベルの高い発表であった」との講評をいただきました。質疑応答も活発に行われ、議論を深める有意義な場となりました。

特別公開講演では、平鹿総合病院副院長・高橋俊明先生より「検査科と共に40年」と題してご講演いただきました。県南地域を中心とした豊富なご経験、検査科との多岐にわたる関わり、さらには新型コロナウイルスパンデミックにおける感染対策の最前線での貴重なご経験など、過去と現在を結ぶ大変示唆に富むお話を伺うことができました。ご講演いただきました高橋俊明先生に、改めて深く御礼申し上げます。

コーヒブレイクセミナーは2社のご協力のもと、2会場にて実施いたしました。ご協力いただきました企業の皆様に心より御礼申し上げます。今学会の実行委員会は平鹿総合病院を中心に、県南支部が一丸となって準備・運営にあたりました。本学会テーマ「質実剛“検” 一切り拓か（平鹿）れる検査領域ー」には、決して派手ではない臨床検査の現場を、諸先輩方が何十年にもわたり積み重ねてこられた歴史の上に私たちが立ち、次世代へより良いものを受け継いでいきたいという思いを込めました。本学会がその一助となれば幸いです。

運営にあたりましては、不行き届きの点多々あったかと存じますが、何卒ご寛容くださいますようお願い申し上げます。開催に際しご協力いただきましたすべての皆様に、県南支部一同、深く感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

令和7年度 全国 「検査と健康展 in 能代市」



北秋田市民病院

近藤 理馨子

「検査と健康展」は臨床検査に関する正しい知識の普及・啓発・国民の健康づくりや生活習慣病の早期発見への意識高揚を図ること、また、若い世代を中心に広く国民に臨床検査および臨床検査技師のことを知っていただくことを主たる目的として全国で開催されております。今年度は全国開催テーマ「検査の真実と “命を支える仕事” ～未来を守る臨床検査の力～」のもと令和7年11月1日（土）イオンタウン能代を会場として開催されました。

検査体験コーナーでは顕微鏡で血液細胞や組織細胞診の観察、尿試験紙を用いた飲料水の糖の色調変化の観察、セルフチェッカーを用いた認知症検査や血液型検査を行いました。技師の説明を受けながら熱心に顕微鏡をのぞく来場者の姿、無糖と有糖の飲料水での尿試験紙の色調変化にうなずく来場者の姿がみられるなど、臨床検査技師の仕事を身近に感じていただけたことと思います。また、チェッカーを用いた手洗い検証では洗い残しの確認ができ、感染予防に関心を持っていただくこともできました。ショッピングセンターでの開催で子供連れの来場者も多く、白衣を着用しての記念撮影や間違い探しも人気でした。技師の説明を受けながら、「臨床検査技師の仕事」のパネルを見入っていた来場者からは、「血やおしこの検査から心電図や超音波、血液型の検査まで、幅広くたくさんの検査をしているのがみんな同じ臨床検査技師なのですね」と驚きの声も聞かれました。近隣の高校の模擬試験と重なり高校生の来場者が少なく残念ではありましたが、臨床検査技師の仕事に興味を持ち、養成校のパンフレットを手に学校相談担当技師の説明を真剣に聞く小中学生もいらっしゃいました。

3時間という短い時間ではありましたが、小さなお子さんから年配の方まで127名と多くの方々に来場していただき、臨床検査技師を知っていただくとともに検査を通じて健康を考える機会になったのではないかと思います。実行委員や実務委員の中には若い世代の技師も多く、今後につながる良い経験ができたことと思います。ご協力いただいた実行委員、および実務委員の皆様、県北支部会員の皆様、藤谷秋臨技副会長、企業の方々にこの場をおかりして感謝申し上げます。ありがとうございました。

令和7年度 全国「検査と健康展in能代市」



第14回日臨技北日本支部医学検査学会

令和8年11月14日（土）・15日（日）に、秋田市にぎわい交流館AU・秋田キャッスルホテル・秋田県立美術館にて、第14回日臨技北日本支部医学検査学会が開催されます。それに先立ち、佐藤会長をはじめ、実行委員・関係者の皆さんが、新潟の地で視察・PR活動をして参りました。秋田県での開催を盛り上げるべく、皆様のご協力よろしくお願い致します。

令和8年度 第14回
日臨技北日本支部医学検査学会

〜彩り豊かな臨床検査へ〜

日時 令和8年 11月14日（土）・15日（日）

会場 秋田市にぎわい交流館AU
秋田キャッスルホテル
秋田県立美術館

主 催 (一社) 日本臨床衛生検査技師会北日本支部
担 当 (一社) 秋田県臨床検査技師会

■学会事務局
秋田大学医学部附属病院 中央検査部内
■事務局事務員
名鉄観光サービス株式会社 東北営業本部
〒010-0021 宮城県仙台市青葉区中央4-10-3 (JR仙台駅南口10分)
TEL: 022-263-1371 FAX: 022-225-8774
E-mail: nichiringsi2026@nml.co.jp
■当日運営事務局
シー・ワース合同会社秋田営業所
〒018-1302 秋田県由利本荘市若城跡手字島ヶ森25-181
E-mail: jamt2026akita@cc-works.co.jp
<https://jamt-akita2026.com>

学 会 長 佐藤 友章 (JA秋田厚生連 秋田厚生医療センター)
実行委員長 藤谷 富美子 (JA秋田厚生連 由利組合総合病院)



環境・保健事業功労者表彰



令和7年11月12日（水）秋田県庁にて「令和7年度環境・保健事業功労者表彰式」が執り行われ、秋臨技副会長の藤谷富美子氏（由利組合総合病院）が受賞されました。

おめでとうございます！

編集後記

秋臨技だよりを作成するにあたり、お忙しい中ご協力いただきました皆様に、この場をお借りして感謝申し上げます。まだまだ寒い日が続きますが、体調管理に気をつけてお過ごしください。

かづの厚生病院 北村一幸